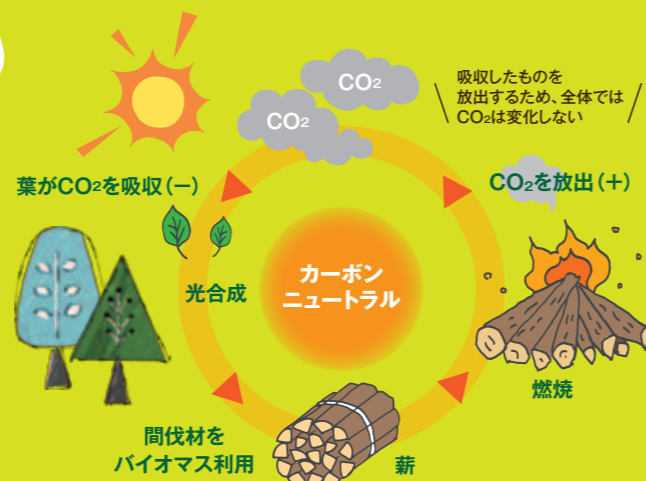


カーボン・ニュートラルとは？

森林は炭酸同化作用により太陽の光を吸収して空気中のCO₂を固定します。バイオマスエネルギーとして利用する時、燃焼などによりCO₂が排出されますが、再び森林が空気中のCO₂を吸収します。このため、バイオマスの利用によって空気中のCO₂が増加することはありません。これをカーボン・ニュートラルと呼びます。



二酸化炭素の削減効果

秩父地域の薪ストーブユーザーにモニターとして、冬の暖房に針葉樹薪を活用してもらった結果、削減された二酸化炭素量は

針葉樹薪50mを使用すると約24t-CO₂の削減になります。

※化石燃料由来の電気や灯油等を薪に代替することで、カーボンニュートラルによりCO₂が削減されます。

ホホホの ぬくもり 感じよう!

薪ユーザーからの声

- 針葉樹薪を使うことによる故障等の不具合はありませんでした。
- 広葉樹に比べて針葉樹薪の方が火つけをするのに早く燃えて役立ちました。
- 針葉樹薪を使ってみて、特に問題はありませんでしたが、燃焼時間が広葉樹に比べて短いため、薪を入れる回数が増えたことが少し面倒でした。
- 針葉樹は広葉樹に比べて、早く燃えてしまい、火持ちが悪いのが難点かと思えます。

ちちぶ薪の利活用によるCO₂削減コンソーシアム

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階
Tel:048-749-1217 Fax:048-749-1218 URL: <http://www.kannet-sai.org/>

環境省平成26年度地域活動支援連携促進事業により作成しました。

～薪ストーブで森のまきかえし～

最近は焚き火をすることもなくなり、
火を燃やすことが生活の中から消えてしまいつつあります。
人は炎をみると心が落ち着き、癒されます。
薪ストーブでそんなぬくもりを感じてみませんか。